Ⅱ　使用（使用料減免）申請書の書き方

申請書の様式は下のようなつくりになっています。太枠内は申請者が記入する欄で，それ以外の部分は公民館側で記入します。

申請者欄は原則，代表者名を記入してください。
（この欄に記入された氏名が領収証書のあて先を兼ねています。）

使用責任者欄は当日，公民館を使用する責任者名と連絡先電話番号を記入してください。
（公民館名は，使用する館名を記入してください。

使用する月日，時間（時間帯）ごとに，室区分・室名，備付物件番号を記入してください。

備付物件番号
1　ピアノ
2　視聴覚機器
3　ビデオ・テレビ
4　拡声装置
5　料理用ガス器具
6　音響機器

様式第１号

公民館使用（使用料減免）申請書

（あて先）旭川市教育委員会　　No.

申請者（代表者）		申請年月日	平成　年　月　日
住　所		電　話	（　　）
団　体　名		代表者氏名	

次のとおり申請します。

公民館名												
使用責任者							電　話	（　　）				
使用日時，使用室・備付物件	月	日	曜日	使用時間	時間帯	使用室区分・名称	備付物件番号	□通常使用料 □減免後使用料				
								室使用料	燃料費	備付物件使用料		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
				時　分から 時　分まで	午前 午後 夜間	小・中 大A・大B		円	円	円		
	特記事項						合計	円				
使用目的	行事名（　　）											
入場料徴収	有（　　円）・無						使用者数	名				
減免の申請理由	□ 生涯学習活動団体の本来の活動のため　□ 市主催の事業のため □ その他の減額対象団体　□ その他（　　）											

備付物件番号
1 ピアノ
2 視聴覚機器
3 ビデオ・テレビ
4 拡声装置
5 料理用ガス器具
6 音響機器

使用種別
1 学級・講座
2 講演・講習
3 大会・発表・展示
4 学習・練習
5 会議
6 その他（　　）

団体別区分
1 青少年団体
2 女性団体
3 成人団体
4 高齢者団体
5 その他

活動別区分
1 生涯学習活動団体
2 社会教育関係団体
3 地域自治団体
4 社会福祉団体
5 一般利用
6 行政機関

注　1　太枠内のみ記入してください。
　　2　室の使用時間帯は，「午前」が９時から１２時まで，「午後」が１時から５時まで，「夜間」が６時から１０時までです。
　　3　燃料費は，使用日が１１月１日から翌年４月３０日までの期間に加算されます。

整理票							現金取扱員	領収済印
平成　年度	所属課名	中央公民館	歳入節名	公民館使用料				
金額	十	万	千	百	十	円	現金出納員	

上記のとおり申請を承認する。

決裁	館長	副館長	係長	係	受付	使用料を減免する理由
						旭川市公民館条例施行規則第５条の２ （　第１号　・　第２号　・　第３号　）に基づく。

使用目的欄は団体の室の使用目的を，入場料徴収欄はその有無（有の場合は金額も）を，使用者数欄は使用日に予想される人数（申請が複数日となる場合はその最大の数）を，それぞれ記入してください。